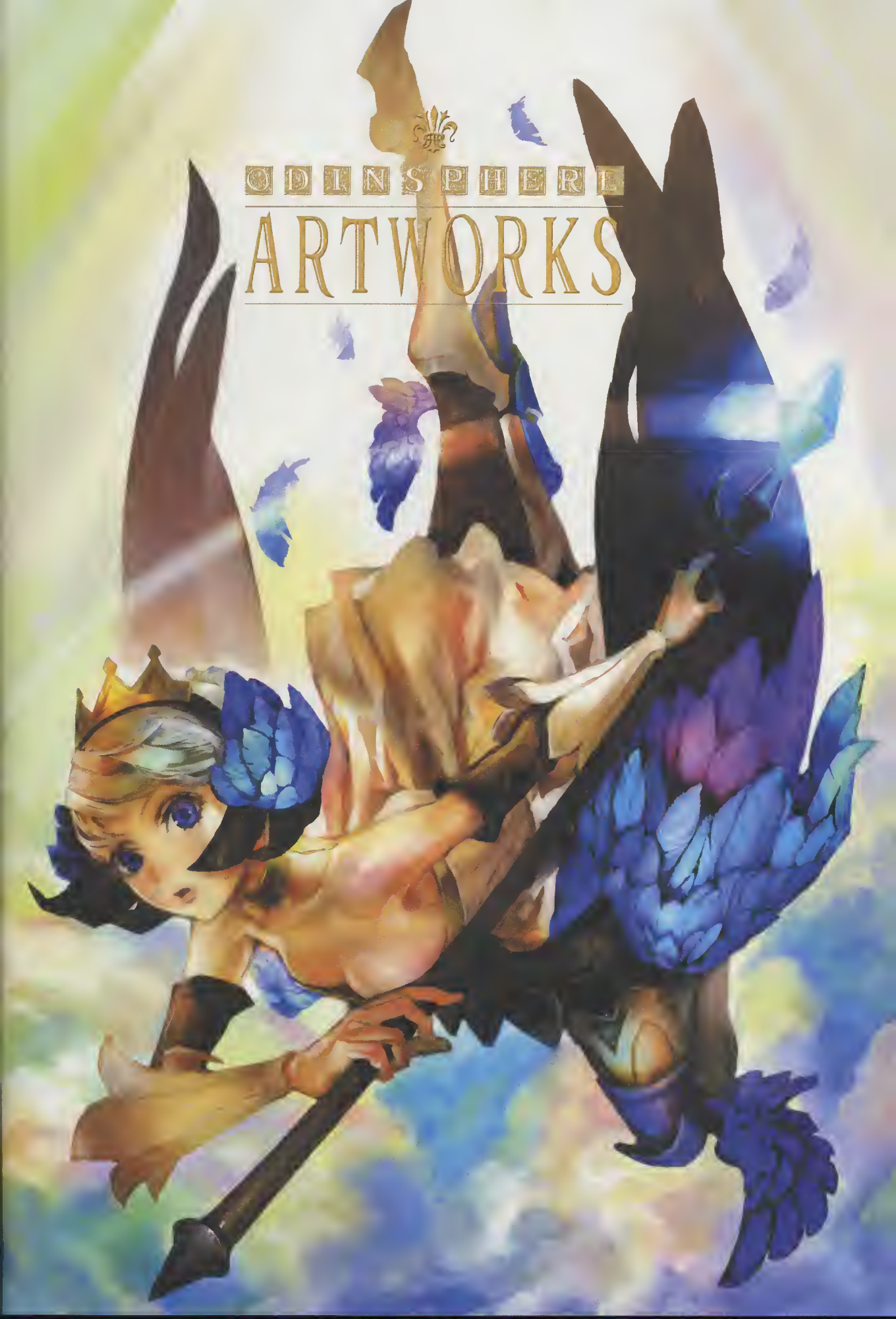
ODIN SPHERE
ARTWORKS


ODINSPHERE
ARTWORKS

ご挨拶 ―― 神谷盛治

「オーディンスフィア」のご購入ありがとうございます。

2007年5月17日、ついに我々スタッフ一同も待ち望んでいた発売日となりました。

私が手がけた最初の作品「プリンセスクラウン」から数えて10年の歳月が過ぎました。その流れを継承する2Dグラフィックのゲームソフトを今になって出せたことは奇跡的といえます。開発開始当時五人しかいなかった私たちの会社に大きなプロジェクトを任せていただけたのも昨今のゲーム業界では驚きな事で、後押ししてくださったアトラスの方々には本当に感謝いたします。

本作は北欧神話、特にワーグナーの楽劇「ニーベルングの指環」をモチーフに描かれた創作ファンタジーとなっております。プリンセスクラウンの続編という形ではなくオリジナルでの制作をアトラスさんに最初にお願いしました。純粋な続編を希望されていた方には申し訳なく思いますが、ファンタジーの源流である北欧神話を物語として描くことは私の長年の夢だったのです。

「ニーベルングの指環」をモチーフに選んだのにも理由があります。キャラクタで映画のようなドラマを作ろうとしてもカメラワークを持つCGやアニメムービーには敵わないと感じていました。しかし映画にも負けない物語演出はあります。それが舞台劇であり、同じく北欧神話をモチーフに作られたワーグナーの楽劇はまさにその答えだったのです。主人公も当初はブリュンヒルデやジークフリートとそのままの名前でしたがゲームの構造上、物語をそのままの形で表現する事はできません。元と違ってしまったのに万一この物語が「ニーベルングの指環」や北欧神話そのものだと勘違いされるのを恐れて、設定の似た創作だとしたのです。それでも北欧神話たる独特な世界観や舞台が醸す幻想的なエッセンスは作品に残せたのではないかと感じております。

出来上がった本作を見て今改めて思うのは音楽の力の偉大さです。実際に崎元さんの音楽が目当てで手に取られたお客さんも居られると思います。彼と彼の率いるベイシスケイプの方々の奏でる勇壮で心を震わせる数々の音楽は、物語に命を吹き込み世界をより鮮やかに際立たせてくれました。私にとっても崎元さんとのめぐり会わせは本当に替え難い幸運なのです。

私が長く夢見た本作がこうして世に出る折、多くの方に思いを馳せずにはいられません。制作サイドを温かく見守ってくれたアトラスの方々、才能を遺憾なく発揮してくれた制作スタッフの面々、そして最後に遊んでいただくあなた。皆様に感謝すると同時にこのゲームとのめぐり会わせがあなたにとって楽しいひと時であることを切に願うものです。

…願いが叶うなら、我々の[illegible]時報われるのです

A ラグナネイブル王国

魔王オーダインが治める軍事大国
首都はネビュラポリス

B 森の古城

ラグナネイブル領の外れに
ひっそりと佇む城

C タイタニア王国

にぎやかな城下町が特徴的
商業も盛んである

D イルリットの森

国境周辺の奥深い森には
モンスターも数多く出没する

E 妖精の国リングフォールド

森の妖精たちに守られた、
大樹の中の緑の王国

F 亡国バレンタインの首都

かつてのバレンタイン王国の首都
結晶核コルドロンはここにある

G プーカの町

亡国バレンタインの都の地下に
人知れず作られた、プーカの住む町

H 死の国エンデルフィア

生者は女王の許可無く
立ち入ることのできない死霊の国

I ウィンターホルン山

万年雪の積もった山頂は
ドラゴンの住処となっている

J 炎の国ボルケネルン

活火山が形成する溶岩洞窟の中に
神殿がそびえ立つ灼熱の国

エリオン大陸において絶大な力を誇っていた魔法大国バレンタイン
その力の源が“魔力の結晶炉コルドロン”である
バレンタイン王はこれを用いて各地の制圧を成し遂げ
彼の国の栄華は永久に続くかと思われた
しかし、ある日突然に
バレンタイン王国は謎の滅亡を迎える

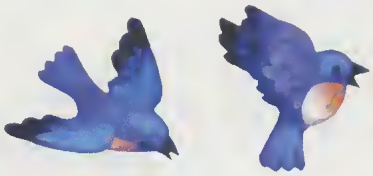
やがて、主のいなくなったコルドロンを巡り
妖精の国リングフォールドとラグナネイブル王国の争いが勃発
その戦火は止まることを知らず、日増しに激しくなるばかりであった
戦況にしびれを切らしたラグナネイブルの魔王オーダインは
遂に自らリングフォールド制圧のための進軍を開始する

一方、残る大国、タイタニア王国のエドマンド王は
古の予言の体現を企む宮廷魔術師ウルズールの策略によって
傀儡の王へと堕ちていた……

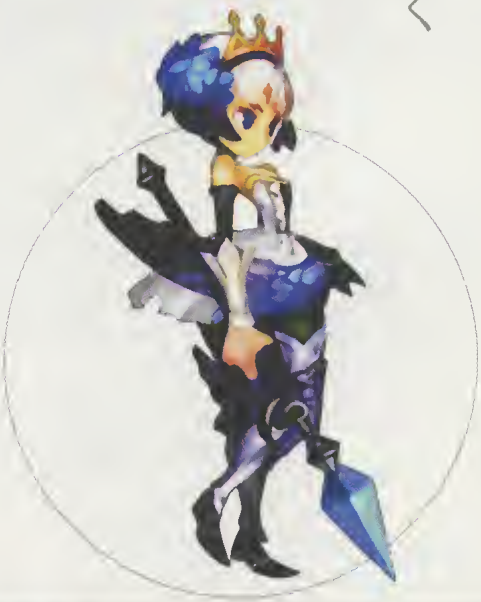
国家間での熾烈な覇権争いの中
『世界は“獣”“死の王”“炎”“大釜”“竜”の五つの災厄により滅ぼされる』
という“終焉の予言”どおり
世界は滅亡への歩みを刻一刻と進めていくのであった……

Gwendolyn

グウェンドリン



戦いに散ることで魂は誇り高く輝く
鳥たちは信じている
それだけが唯一
永遠の魂を得る道なのだと



グウェンドリン

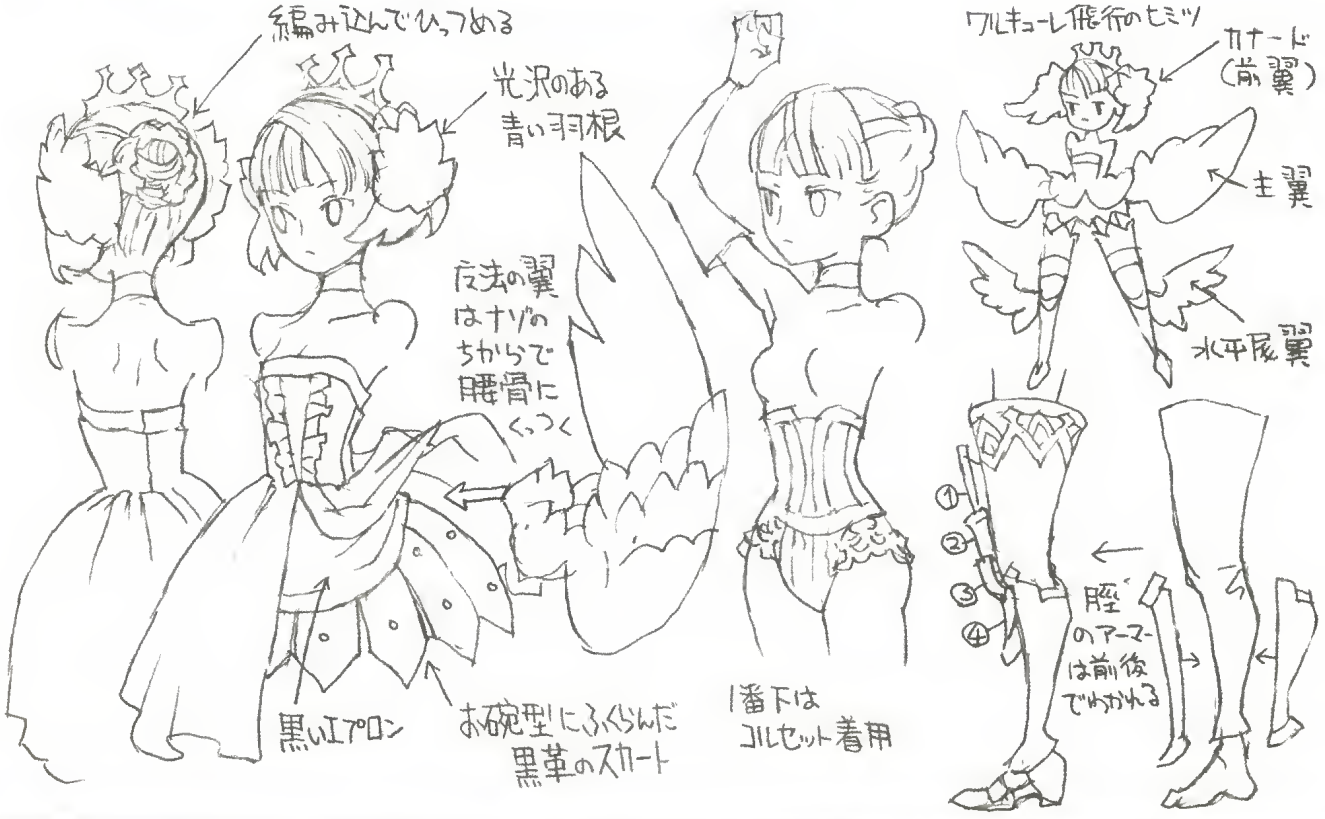
CV：川澄綾子

北方の大国ラグナネイブルの姫君。
魔王と恐れられる国王オーダインの二女で、
槍のサイファーを手に勇敢に戦うワルキューレ。
戦場では「オーダインの魔女」と畏怖されている。
姉のグリゼルダは、
強く勇敢で周囲からの信頼も篤い優秀なワルキューレ。
その影に隠れて育ったせいか普段は物静かで控えめ。
戦いに赴くのも王への忠誠心からというより、
父親の愛情を欲しての行動とも取れる。
健気で儚い印象もあるが、
いざとなるとどんな者を前にしてでも
勇ましく立ち向かう強さを持っている。

●身長：163cm 体重：54kg

CREATOR'S COMMENT

ニーベルングの指環のブリュンヒルデがモデルです。ワルキューレは人気があって多くの方がデザインされたモチーフです。今までにない新たなデザインを模索してずいぶん悩みました。グラドリエルのテイストも残すように考えながら「白鳥の湖」のバレリーナをベースに美しく伸ばした足に鎧を施したイメージとしました。（神谷）



Cornelius

コルネリウス

運命の陥穽は突然足下に開く
今日と同じ明日が続くと
誰に言えよう
魂はうつろう
投げられた硬貨のように

コルネリウス

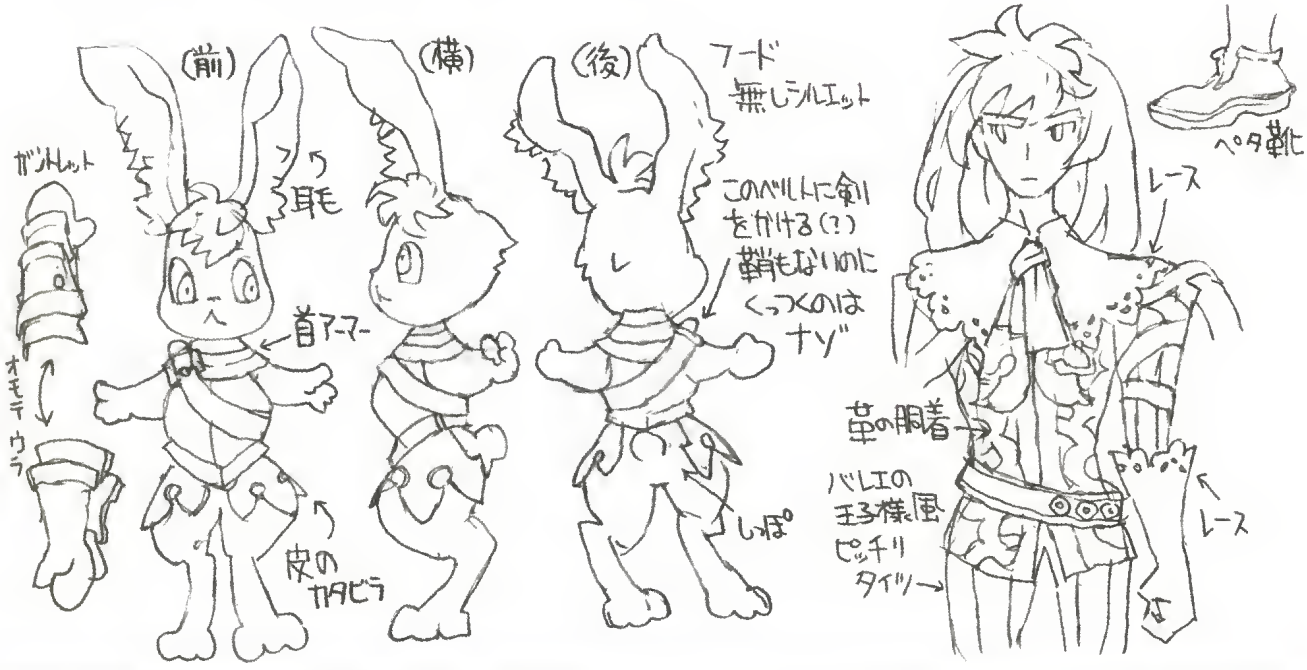
CV：浪川大輔

歴史ある王国タイタニアの王子で長身の美男子。
ある時、目覚めると見知らぬ場所で
小さなけものの姿になっていた。
異国の恋人ベルベットに愛を告げるつもりだったが、
けものの姿となってしまったため、告白をためらう。
王族としての誇りと品格を無意識に備えている反面、
若く世間を知らぬ故の
青臭い理想を掲げることもあるが、
常に正義を貫き困難に立ち向かう芯の強さを持つ。
ある人物から渡されたサイファーの剣は、
それ自体が王家の血筋の証明になるというが……。

●身長：183cm (120cm) 体重：66kg (27kg)

CREATOR'S COMMENT

最初に動物主人公ということが決まっていました。デザインは耳のボリュームとフードが決め手となりコルネリウスはウサギっぽくなったのですが、後に決まった物語からプーカ族もウサギの姿になってしまいゲーム全体のファンシー分が上がってしまいました。（神谷）



Mercedes
メルセデス

今は昔、
遠い遠い星明かりの森に
花のような女王に守られて
妖精たちが暮らしていた
儚く消える幻のように

メルセデス

CV：能登麻美子

CREATOR'S COMMENT

シガタケくんや太西くんのデザイン案を参考に生み出したのがメルセデスです。彼女はケルトらしい妖精に描かれながらプリンセスクラウンのオマージュ的な設定を意識して作られました。名前が外車っぽくて覚え易いのが特徴です。（神谷）

妖精の国リングフォールドのお姫様であり、後の女王。
母親である先王の死により、
幼い身で女王としての運命を課せられる。
お姫様扱いされてきたため、
子供っぽくワガママな面も多々見られるが、
亡き母への想いから立派な女王になろうと決意。
サイファーの石弓を手に取り、
様々な種族との関わりの中で、
周囲に助けられながら少しずつ成長していく。

●身長：151cm　体重：38kg

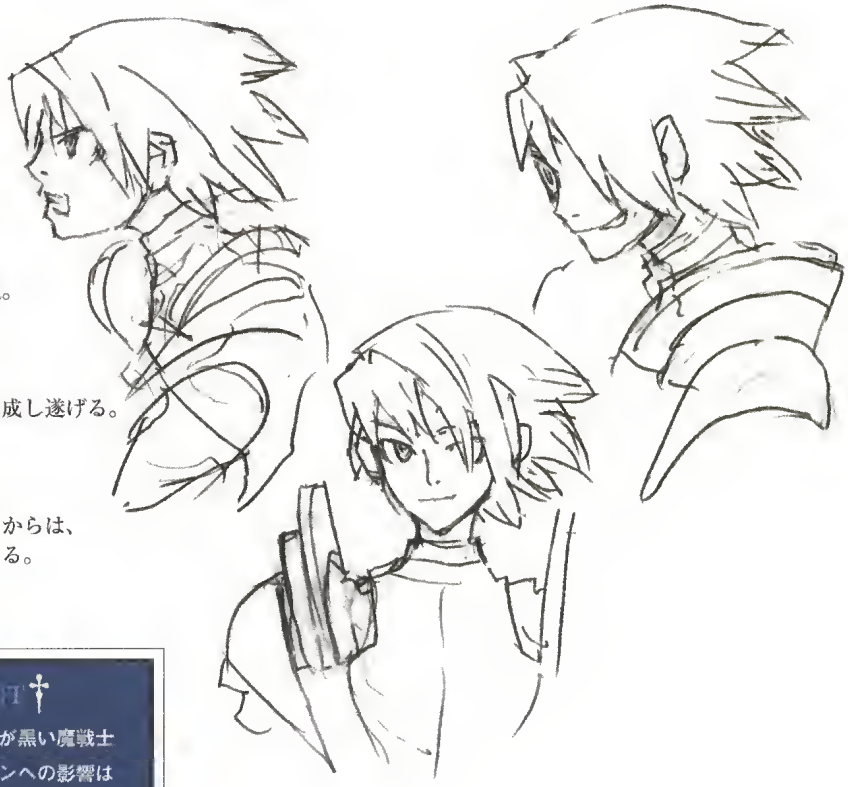
Oswald
オズワルド

その剣を掲げれば
影を濃く引き
死の匂いをまき散らす
闇に根ざす者には甘美に
抗う者には酸のごとく

CV：千葉進歩

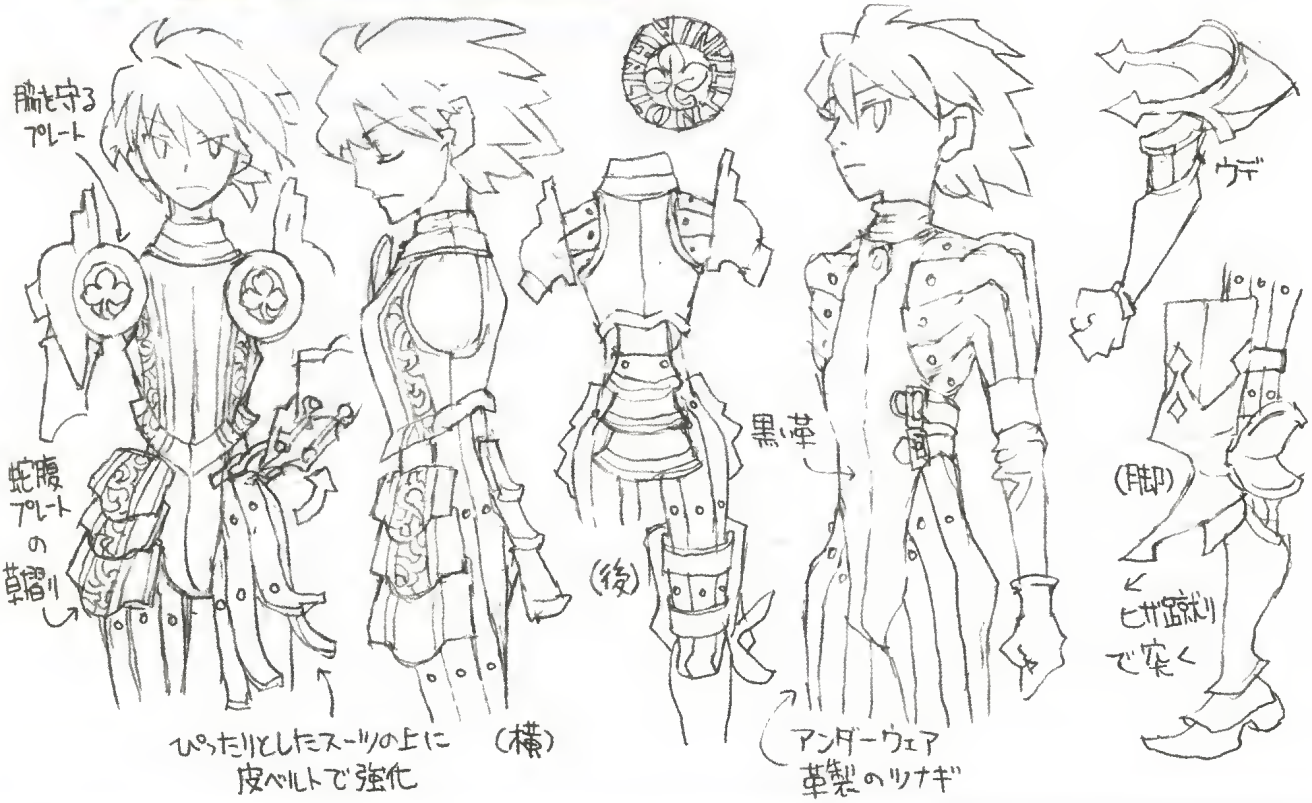
妖精の国リングフォールドの冷酷な戦士。
その強さは竜殺しを容易くやってのける程。
国内外で“黒い剣士”と畏怖されている。
捨て子であった自分を拾って育ててくれた
メルヴィンには恩を感じており、
彼のためであればどんなに無謀なことでも成し遂げる。
ブロムに作らせた剣のサイファーも
メルヴィンから与えられた。
寡黙で感情を表わすことも少なかったが、
メルヴィンから告げられた真実を乗越えてからは、
自分の意志をハッキリと主張するようになる。

●身長：177cm　体重：73kg



CREATOR'S COMMENT

ジークフリートをモデルとしたキャラですが黒い魔戦士という設定が既に上がっていたのでデザインへの影響はあまりありません。全身重装甲ながら細身というコンセプトで描きましたが割と凡庸なデザインになってしまいました。（神谷）



Velvet
ベルベット

運命と嘆き、支配に身を委ねれば
結末は容易になる
だが我々は知っている
運命に逆らって進む道にこそ
運命が待っているのを

ベルベット

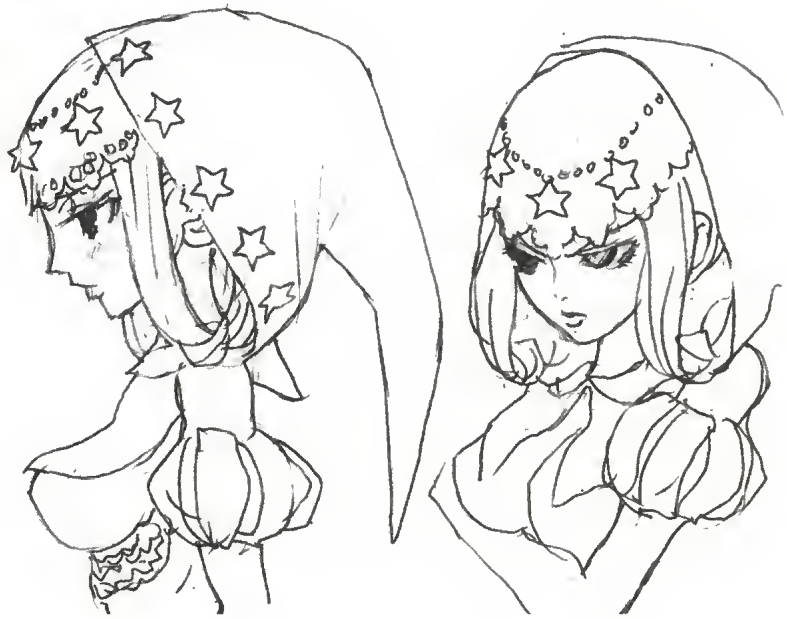
CV：沢城みゆき

謎の滅亡をとげた、かつての大国バレンタイン国の姫。
現在は素性を隠して森に住み、
人々からは「森の魔女」と恐れられている。
亡き母が予見した“死”と“呪い”に怯えながらも、
必死にその運命に立ち向かおうとする。
鎖のサイファーは母の忘れ形見。
普段はおっとりとしているが、世界の終焉を前に持ち前の行動力で奔走する。
冷静で頭がきれ、面倒見もいい。双子の兄、イングヴェイがいる。

●身長：166cm　体重：53kg

CREATOR'S COMMENT

バイキングの時代には科学など学問はアラビアが先進していました。バレンタイン国は異文化の技術先進国の設定。そんなイメージを重ねて服飾はアラビアテイストとしました。モデルとなったフレイヤの奔放さも出ていればいいですね。（神谷）



Ordyne

オーダイン

ラグナネイブル王国の国王であり、
グウェンドリン、グリゼルダの父親。
コルドロンを巡る戦いに没頭する姿は
冷酷で力強い軍事大国の王そのものだが、
過去にまつわる出来事に複雑な思いを抱いている。
サイファーの武器“バロール”を操る
大柄な戦士でもあり、
大陸中に「魔王」の通り名を轟かせる
偉大な魔法使いでもある。

†イメージイラスト　前納　浩一

Brigand

ブリガン

ラグナネイブル軍の将軍。
巨漢で力自慢の戦士だが、
傲慢な性格で権力に対する欲も深い。
言動にも男尊女卑の思想が表れている。
たいへんな大酒飲みで、
飲むたびに暴れるので手に負えない。

†イメージイラスト　前納　浩一

Grizelda

グリゼルダ

グウェンドリンの姉で、
部下からの信頼も篤い勇敢なワルキューレ。
王の娘として、
ワルキューレの将としての責を自覚しており、
進んで危険な戦場へ飛び込んで行く。
戦場では冷酷非情な振る舞いをしているが、
相当な無理をしていると思われる。

Valkyrie

ワルキューレ

ラグナネイブルの女戦士たち。
空を滑空し、
槍を手に戦う。
戦って死ぬことこそが
誇り高き行いだとされている。

Milis

ミリス

王国に奉公に来ている
心優しいプーカ。
グウェンドリンを慕い、
身の回りの世話をする。

† MEMO †

戦場で傷つき、戦えなくなったワルキューレは、王の決めた相手と結婚し子を産むことを強いられる。それは、戦場での誇り高き死を誉れとするワルキューレにとって屈辱であり、それを何よりも恐れるワルキューレたちは命を賭して戦う。

Dwarf

ドワーフ

工芸に長け、様々な防具を生み出す。
魔石からサイファーを作ることもできる。
魔王軍のドワーフは爆弾兵として戦場にも出る。

Warrior

ウォーリアー

ヒゲを蓄え、
ずんぐりした体型のバイキング風戦士。
壮年期の男性が多く、
ベテラン兵の風格がある。
大きな斧での一撃は、強力。

Berserker

バーサーカー

獣の皮と武具を纏った狂戦士。
この国の男は、
バーサーカーになるか死ぬかの
どちらかだ、と言われている。

† MEMO †

青色のサイファーは死者の国の魔石から作られる魔法武器。専門の職人によって加工されている。魔石の採取が困難なため、サイファーもごく少数しか存在していない。

自らを三賢人と称し、
タイタニアの地下で魔石や終焉、
他様々な事象を研究している高齢の魔術師。
賢人を名乗るだけのことはあり、
空中を移動したり、
竜をも意のままに操ることが出来る。

Skulldy
†スカルディ

Uldzur
†ウルズール

Verdo
†ベルドー

Goblin

ゴブリン

こずるい追いはぎ。
タイタニア国のスラム街を
根城として住んでいる。
体から常に腐臭を放ち、
近付く事もためらわれる。

† MEMO †

ゴブリンは生きながらも体が腐り始めており、その腐りかけた顔を隠すため、ボロ布で口元を覆っている。手持ちのナイフに毒を塗って、自分より力の弱いものを襲って生きている。

King of Titania

タイタニア王

コルネリウスの父
小柄で年老いた臆病な国王。
まだ王子の時分に
国のために魔獣を倒し
英雄となったが、
いまはその面影もない。

Axe-knight

アックスナイト

屈強な王国の衛兵。
法に厳しいタイタニアでは、
すぐに処刑ができるように
首切り役人が騎士を務めているのである。

Blom

ブロム

ドワーフ族の名鍛冶。
魔石からサイファーを作り出すことができる
数少ない存在である。
メルセデス、オズワルドのサイファーも彼の作。

Matthew

マシュウ

女王に仕える忠実な男。
幼少時から世話を任されていた
メルセデスからは
爺やと呼ばれている。

Unicorn-knight

ユニコーンナイト

重装備の騎士。
リングフォールドでは
ドワーフが作り出した鎧を着ている戦士が
聖騎士を名乗る。

† MEMO †

かつて妖精の森に住んでいたドワーフ族は、些細なことから妖精族と反目しあい、争いに負けたドワーフのうち、魔王軍に入り工兵になったものと、降伏し女王に服従してリリパットとなったものの二派に分かれた。

Elf-caster
Elf-hunter

エルフキャスター・エルフハンター

リングフォールドの女兵士。
飛行して上空から攻撃する。
平和な時分は武装を解き、
妖精らしいつつましくも優雅な暮らしをしている。

Lilipat

リリパット

女王に忠誠を誓う小さな戦士たち。
とがった帽子がトレードマーク。

Elf-knight

エルフナイト

リングフォールドの一般兵士。
鎧の色で階級が分けられている。

Yngwie

イングヴェイ

ベルベットの双子の兄。
コルドロンを破壊するために
各地を暗躍している。
過去の悲劇的体験からか、
目的達成の手段を選ばない
独善的な思想を持つ。

†イメージイラスト　シガタケ

King of Valentine

バレンタイン王

呪いにより冥界に堕ちた亡国の王。
ベルベットとイングヴェイの祖父。
肉体は骸となるも
強い恨みの心が意識を支配している。
この世を呪い、
復讐の炎を燃やしている。

Pooka

プーカ族

耳の長い、ウサギのような種族。
願いが叶うというコインを集めていて
様々な職については
コインの報酬をもらっている。

Creutz

クロイツ先生

ベルベットやイングヴェイに
子供の頃から勉強を教えてきた先生。
幅広い知識を持ち、
年長者らしい落ち着きがある。
終焉の予言についての研究も欠かさない。

Mellil

メリル

クロイツ先生の娘。
世話好きで働き者。

Melelunch Meliene

メルランチ／メリーヌ

プーカの町の
二つの料理店のオーナー。
持ち込み食材での
料理が得意。

†メルランチ

†メリーヌ

Onyx

オニキス

浅黒い肌を持つ、炎の国ボルケネルンの王。
この国で唯一の男性で、
人の姿をしているときは気品にあふれ礼節正しいが、
戦いの際には全身溶岩でできた恐ろしい姿に変わる。

Vulcan

バルカン

炎の国の女戦士たち。
オニキス王だけを愛し、
王に対しては従順。
戦いになると
本来の姿である
炎の化身となり、
苛烈な攻撃を仕掛ける。

†イメージイラスト　前納 浩一

Odett

オデット

死の国エンデルフィアを
支配する女王。
死者たちを率いる
死の象徴である。
冥界と現世を繋ぐ存在だが、
許可無き侵入者は許さない。
高慢で冷酷な態度が
むしろ高貴な印象を与える。

Wraith

レイス

死の国の番人。
人間にとっては
いわゆる死神にあたる存在。
冥界と現世を自由に
行き来することができる。

Revenant

レブナント

贖罪の苦行者。
女王オデットの命令で、
ろうそくの炎で冥界を照らして回る
苦行を強いられている。その体が、
例え砂粒にまで砕かれようと、
死ぬ事が出来ない。

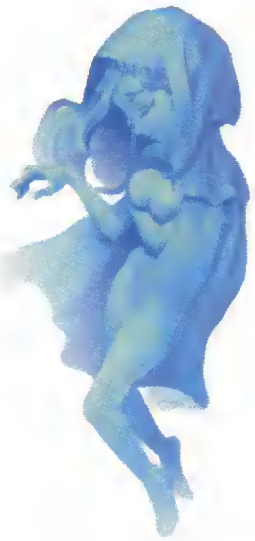
† MEMO †

炎の国も冥界も、別の次元に存在しているわけではなく、同じエリオン大陸に位置している。だがその入口を知る者は稀であり、入口がわかっても国の長の許可無く立ち入ることは困難である。

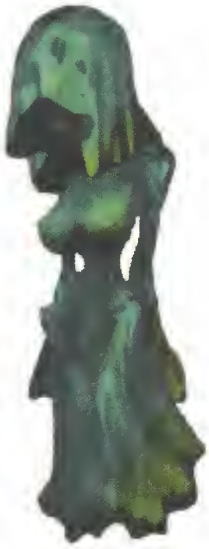
Geist

ガイスト(女)

骨と化した死者。
美しい姿で現れることもあるが
ろうそくの明かりに照らされると
本当の朽ち果てた姿が
映し出される。



†ガイスト(女)



†ガイスト(男)

Geist

ガイスト(男)

骨と化した死者。
生前の記憶が残っているのか
ひとりごとをつぶやくことがある。

Wargner

ワーグナー

世界の誰もが恐れる
最強の飛竜。
高い知性と神々しいまでの
威厳を持って
人間に対峙する。

Hindel

ハインデル

博識で探求心が強い黄金色の地竜。
未来を見る力があり、
終焉の予見もしている。
人間に興味を持ち、
悩める人の問いに答えることもある。

Belial

ベリアル

三賢人に使役されている巨大な地竜。
賢明だが心優しい性分であったため、
騙されて魔法をかけられてしまった。

Manticora

マンティコア

古くから、イルリットの森に住む
年老いた魔獣たちの総称。
多くの知識を身につけているが、
非常に凶暴で話し合いの余地はない。

Salamander

サラマンダー

ボルケネルンに生息するトカゲの一種。
群れを成し溶岩を摂食している。

Troll

トロル

ウィンターホルンに生息するけもの。
雪に埋もれて人間を待ち伏せ、
襲いかかる。

Grizzly

グリズリ

イルリットの森に住む
知能を持ったけもの。
可愛らしい外見とは裏腹に、
鋭い爪で獲物を仕留める。

Vender

行商人

あらゆるところで店を広げる
アラビア風の出で立ちの商人。
各地に仲間が散らばっている。

Mandoragora

マンドラゴラ

料理や魔法薬には欠かせない野菜の一種。土地によって生息する種類が異なる。

†ターニー

†カロッチオ

†トリカブ

†オニオンヌ

†ハバニール

Alice & Sokrates

アリスとソクラテス

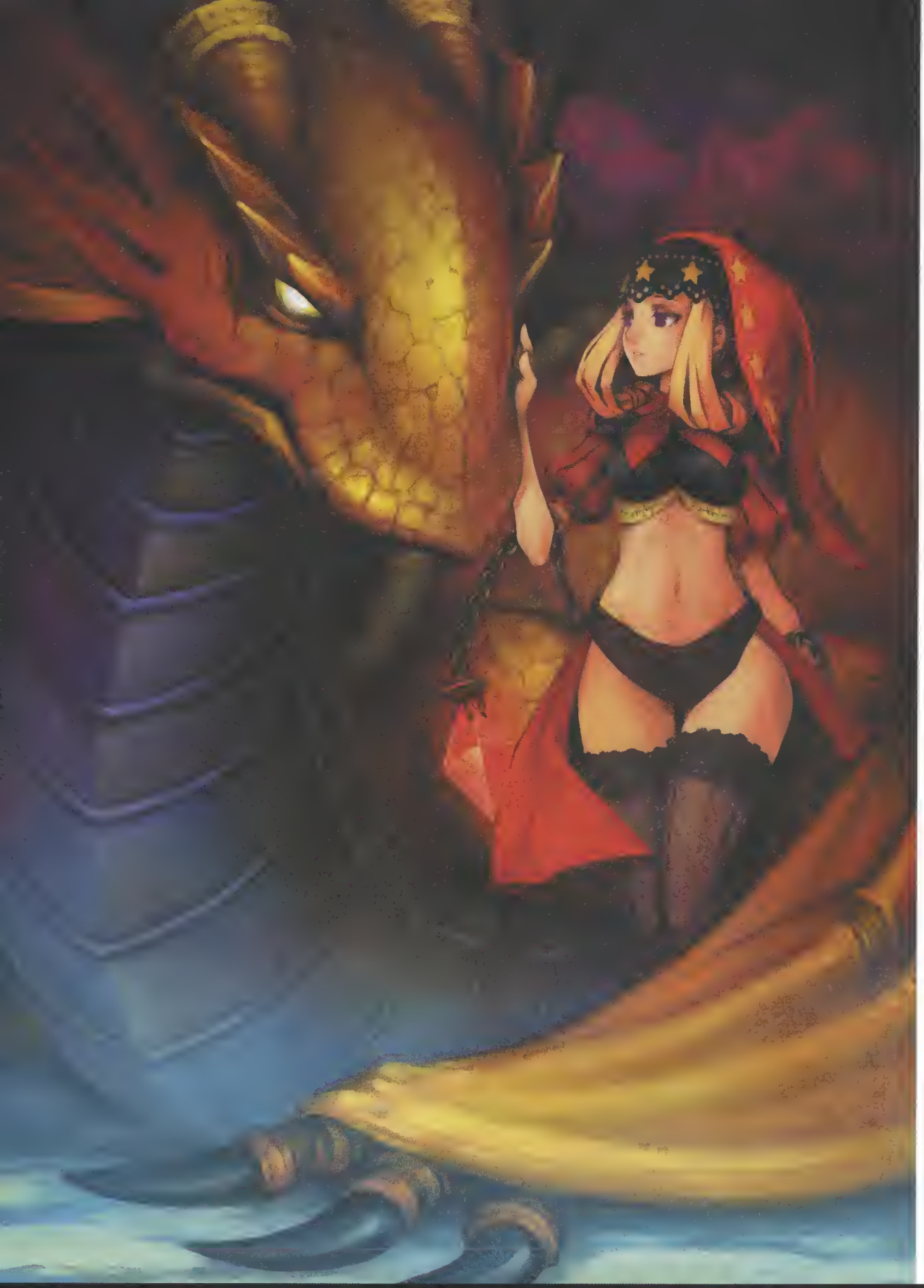
屋根裏部屋の書庫で、古い本を見つけて
夢中になって読みふける女の子。
想像力が豊かな夢想家。
猫のソクラテスはアリスの一番のともだち。

†「鳥」 白井 康夫

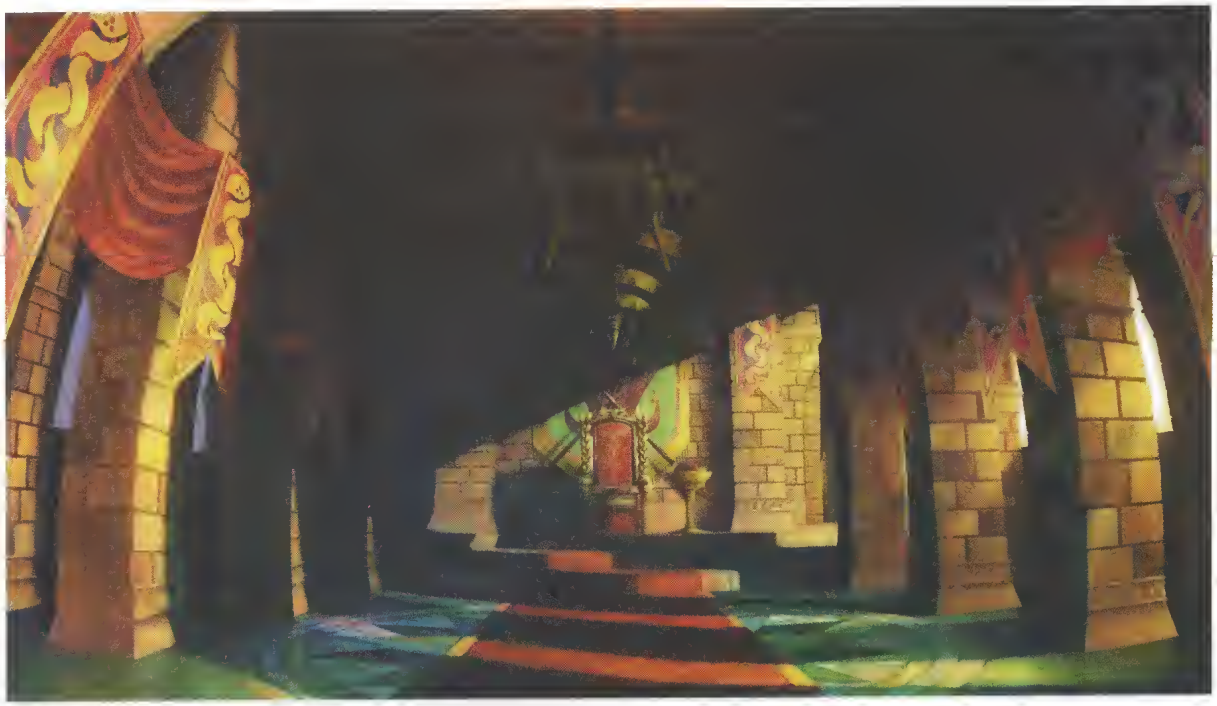
†「真実と虚実」　シガタケ

†「あっちじゃないの！」　白井　康夫

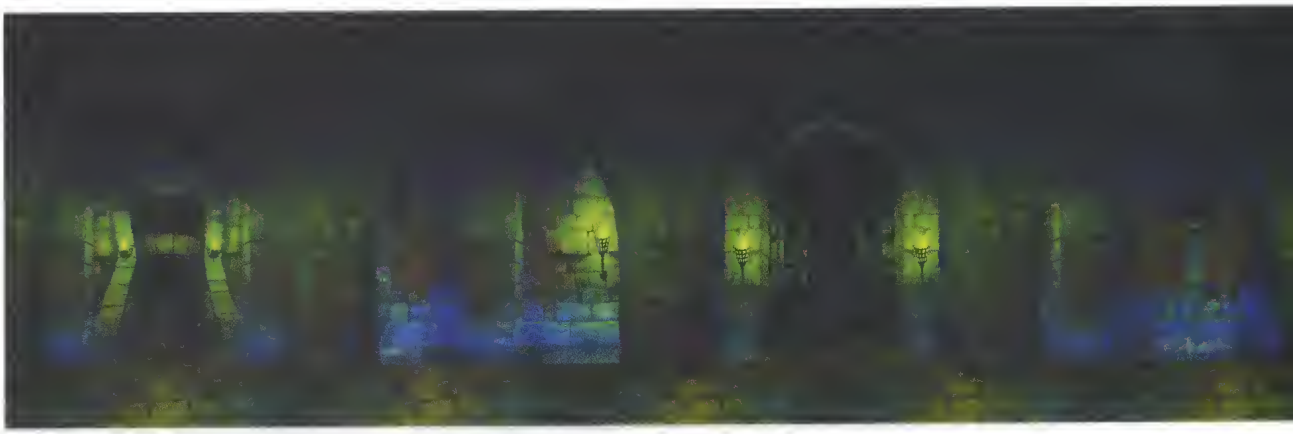
†「暗中模索」　白井　康夫



†「運命に抗う者」 シガタケ



†城内 謁見の間



†領内地下の大迷宮

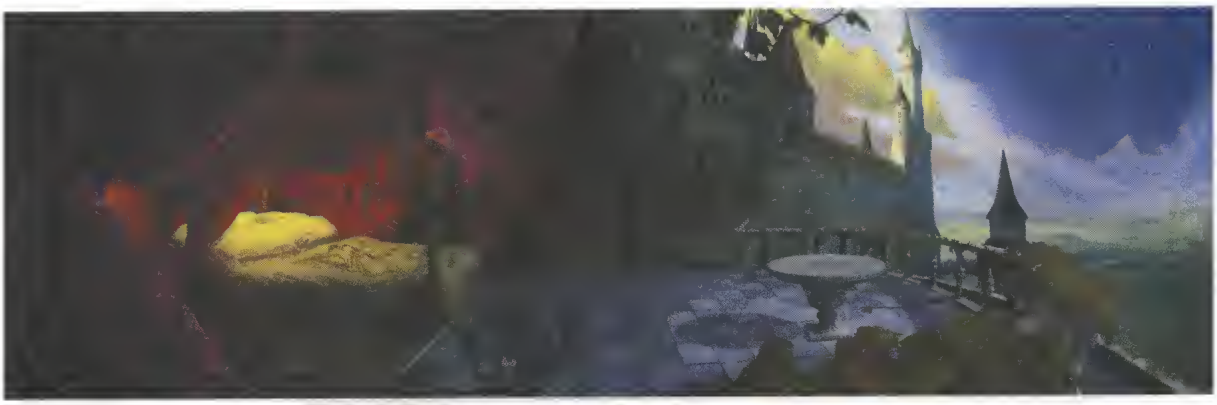
†城下町

タイタニア王国

†ラグナネイブル城

†魔王の玉座

†国境周辺 イルリットの森



†森の古城の寝室

†古城近くの遊歩道

†魔女の森

ラグナネイブル城と国境周辺地域

†宮廷内の広間

†妖精の森

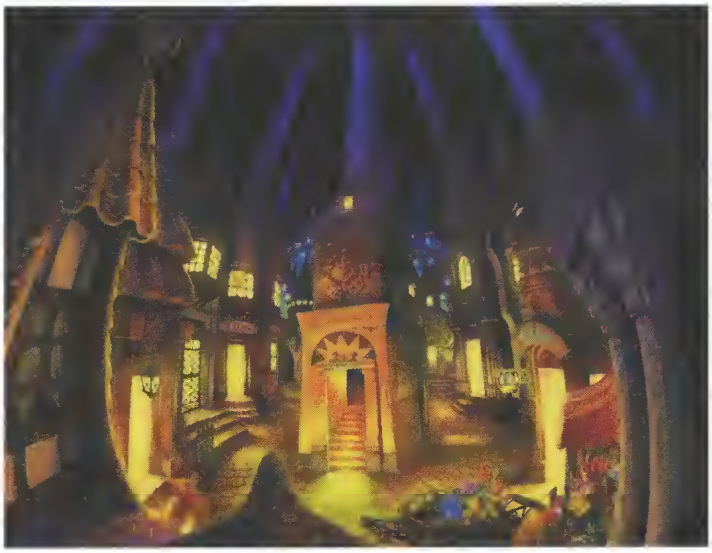
妖精の森
リングフォールド

†宮廷外観

†亡国バレンタインの首都

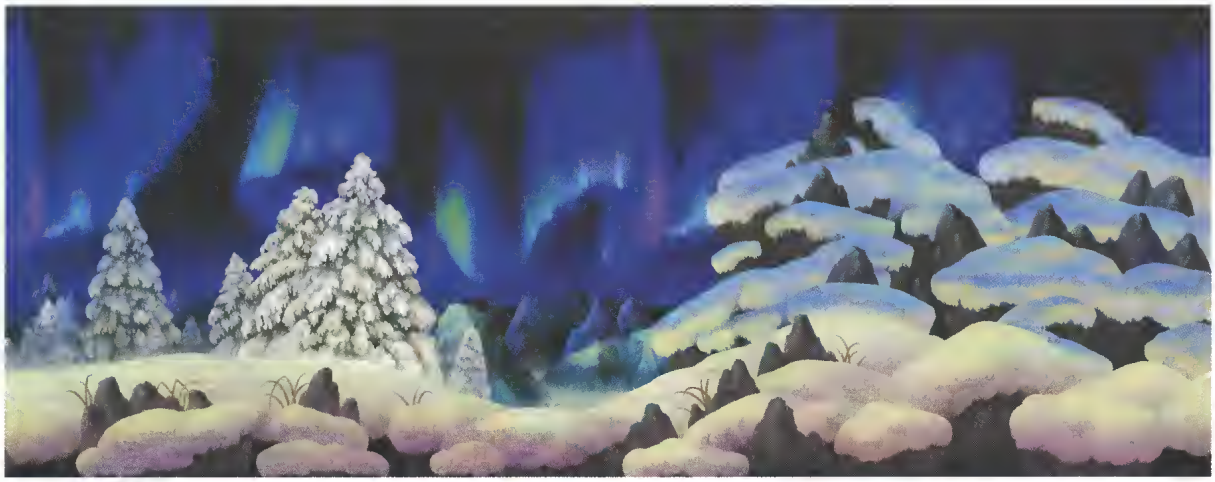
†プーカキッチン

†プーカカフェ

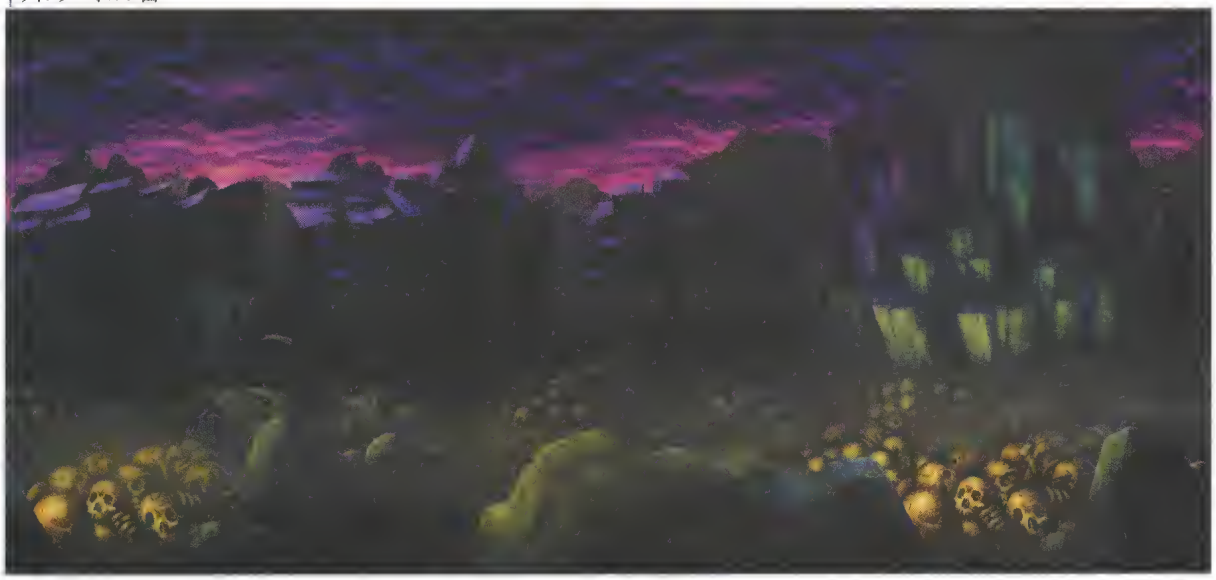


†プーカタウン

亡国バレンタインの首都とプーカの町

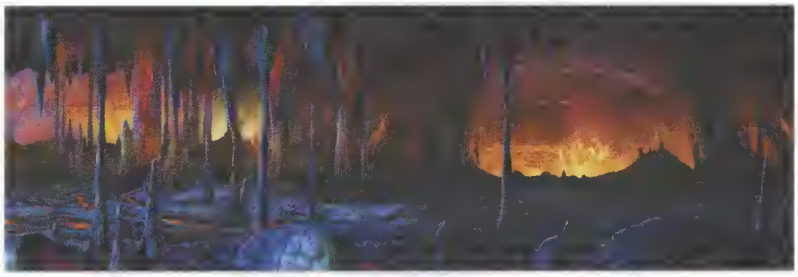


†ウィンターホルン山



†死の国エンデルフィア

ウィンターホルン山
エンデルフィア
ボルケネルン



†炎の国ボルケネルン

†ボルケネルンの噴火口

魔力の結晶炉 コルドロン

いまは亡きバレンタイン王国の繁栄の源であったコルドロン。自然界に生じる魔力の素“フォゾン”を集めることのできるこの機械はいつしか「魔力の大釜」と呼ばれ、国同士の覇権争いや、種族の存続、終焉の預言などに関しての重要なカギとなっている。

†コルドロン

キャラクター初期イラスト

†初期グウェンドリン

【スタッフコメント】絵2点は企画書用のカットです。これより古くにケルト装飾で色味も渋くマニアックなために没となったデザインがありましたが残念ながら当時のその絵を発掘できませんでした。ＳＤキャラはシガタケ君が作ったテストキャラです。（神谷）

初期メルセデス

【スタッフコメント】雑な方が私が提示したイメージです。シガタケ君が描いた初期案もなかなか魅力的です。当時は細い虫羽で高速移動キャラという案もありました。（神谷）

初期コルネリウス

【スタッフコメント】あまりにダバダバな絵でこれを晒されるとは思いもよりませんでしたが何かの端に描いた人間時コルネリウスのイメージです。（神谷）

初期ベルベット

【スタッフコメント】ベリーダンサーがベースとなった頃の案です。鎖の原型は蛇だった事を思い出しました。確か魔女分を上げるためにここからいじったような…（神谷）

初期オズワルド

【スタッフコメント】いきなり完成形のオズワルドですが、今見るとこれはこれでいいような気がします。主人公と呼ぶには敵役イメージすぎた事で微妙に変えていきました。（神谷）

戦闘アクション線画

†グウェンドリン

†コルネリウス

†メルセデス

アリス初期

本選択企画指示用 カット

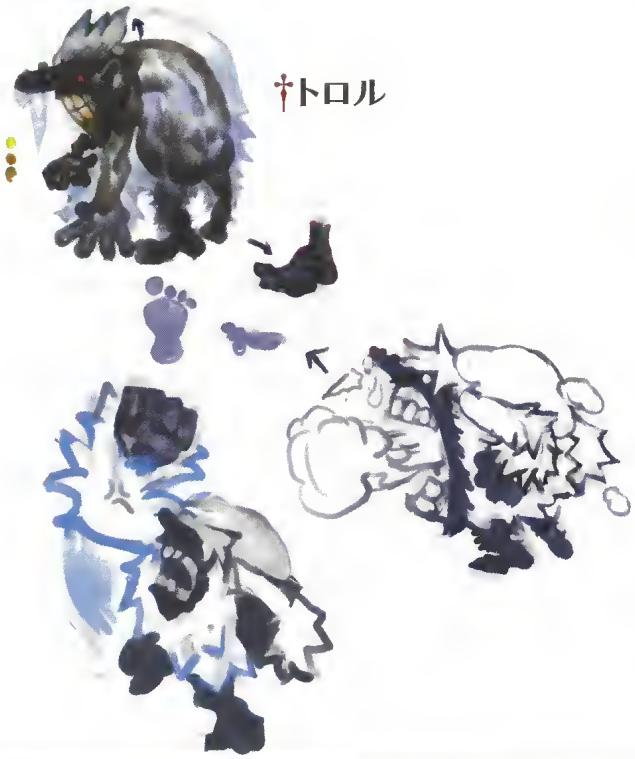
モンスター指示書

†サラマンダー

†マンティコア

†バルカン

†グリズリ

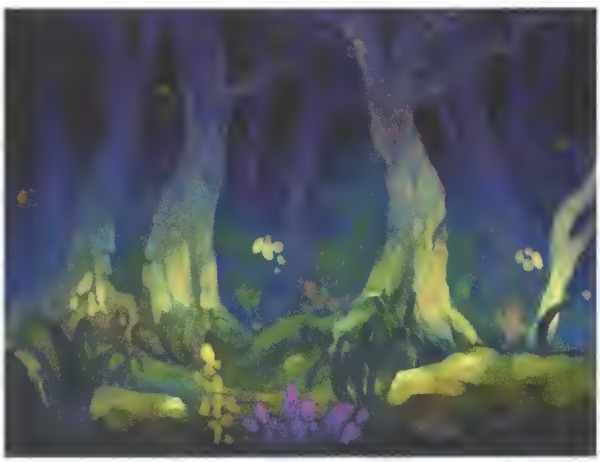


†トロル

初期背景画

†魔女の森　イメージ、フィニッシュ

†プーカの国（プーカタウン）



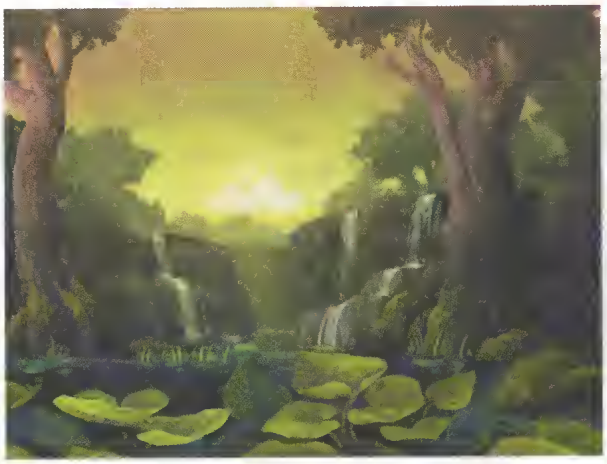
†妖精の森（リングフォールド）

†死と氷の国（エンデルフィア）

†恐ろしい山（ウィンターホルン山）

†鍾乳洞（鍾乳洞）

†火の国（ボルケネルン）



†湿地帯（森の湿地）

†初期の森（イルリットの森）

†「整理整頓」 白井　康夫

†「王座」 白井　康夫

†「誓いの心」　シガタケ

†「竜と妖精」 シガタケ

†「ブーカタウンの戦い」　白井　康夫

†「縛鎖」　白井　康夫

†「古城にて」　山下　大地

「戦場の姉妹」　藤原　安洋

†「導きの蝶」　大西 憲太郎

†「屋根裏部屋のアリス」 シガタケ